

3 本時の学習

(1) ねらい

3人の意見について話し合うことを通して、公共の場でのきまりの意義を理解し、みんなのことやまわりの状況を考えて、きまりを守ろうとする実践意欲を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 「きまり」について考える。	○きまりを守るのはなぜでしょう。 ・守らないといけないから。 ・けがさせてしまうし、怒られるから。	○身近にあるきまりを例に出し、本時のねらいに対する関心を高める。
	きまりについて考えよう		
展開	2 「心の優先席」を読み、話し合う。 (1) 乗客の気持ちを考える。 (2) 3人の意見について考える。 (3) 優先席について考える。	○乗っている人がそわそわしはじめた時、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・席譲った方がいいかな。 ・誰か席を譲ったらいいのに。 ○あなたの考えはどれに近いですか。 ・①優先席はお年寄りのためのものだから譲るべきだと思う。 ・②今いるところの近くで座れたらおばあさんにとっていいと思う。 ・③疲れている人もいるし、譲れる人が譲るのがいいと思う。	○電車の中の様子をおさえることによって、乗客のおかれている状況を理解できるようにする。 ○各々のタブレットに意見を示し、考えを伝え合う際、その理由を問うことにより、様々な状況が考えられることに気付くことができるようにする。 ○どの意見にもおばあさんを気遣う優しさがあることに気付くことができるようにする。
	3 自分の生活を振り返る。	○どうしてきまりができたのでしょうか。 ・自分や全ての人が気持ちよく生活できるようにするため。 ・みんなが安心して過ごせるようにという優しい気持ちからできた。	○問い返しをすることで、優先席の必要性について考えることができるようにする。 ○周りの乗客の気持ちや行動を問うことにより、きまりがあることで生活しやすくなっていることに気付くことができるようにする。 ○振り返りポイントを基にワークシートに記入させることで、自分事として考えることができるようにする。 ☆きまりの意義を理解し、きまりを守ることの大切さについて、自分の事として考えることができるか。 (発言, ワークシート)
終末	4 本時のまとめをする。	○みんな考えて見つけたことをこれからも大切にしていきましょう。	○児童の考えを紹介することにより、きまりを守ろうとする意欲をさらに高められるようにする。

